

NEC 2470.05
(2000-223345)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

第2554667号

(45) 発行日 平成8年(1996)11月13日

(24) 登録日 平成8年(1996)8月22日

(51) Int. Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 T 7/00			G 0 6 F 15/62	4 6 0

発明の数1(全 2 頁)

BEST AVAILABLE COPY

(21) 出願番号	特願昭62-238133	(73) 特許権者	999999999 株式会社東芝
(22) 出願日	昭和62年(1987)9月22日		神奈川県川崎市幸区堀川町72番地
(85) 公開番号	特開平1-79895	(72) 発明者	中井 敏夫
(43) 公開日	平成1年(1989)3月24日		神奈川県川崎市幸区小向東芝町1 株式 会社東芝総合研究所内
		(74) 代理人	弁理士 則近 豊佑 (外1名)
		審査官	千葉 輝久

(54) 【発明の名称】 個人認証装置

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 具体的特徴を用いて認証を行なう個人認証装置において、認証を行なうために用いる身体部位の温度を計測する手段と、該計測した温度が予め設定された温度範囲の温度内か否かを判定する手段と、該手段で判定した結果、予め設定された温度範囲内の場合に認証の照合を行なう手段とを具備することを特徴とする個人認証装置。

【請求項2】 身体的特徴が指紋であって、指の温度を計測することを特徴とする特徴請求の範囲第1項記載の個人認証装置。

【請求項3】 身体的特徴が顔であって、その認証を顔画像である場合顔の温度を計測することを特徴とする特徴請求の範囲第1項記載の個人認証装置。

【発明の詳細な説明】

2

[発明の目的]

(産業上の利用分野)

この発明は個人認証装置に関する。

(従来技術)

従来技術として指紋や顔画像を用いて個人認証を行なう装置があるがこれらの装置の場合試作者が被認証を持った者の指紋の写真を指紋読み取り部にあてたり、顔形状マスクを着用したりした場合に認証してしまうという欠点があった。

(発明が解決しようとする問題点)

この発明は試作者が被認証権保持者の指紋の写真を指紋読み取り部にあてたり、顔形状マスクを着用した場合には認証しない個人認証装置を提供することにある。

[発明の構成]

(問題点を解決するための手段)

10

(2)

特許-2554667

3

4

この発明では認証を行なうために用いる身体部位の温度を計測する手段と計測結果が予め設定された温度範囲以外の場合は認証を行なわない手段を具備する。

(作用)

この発明では認証を行なうために用いる身体部位の温度を計測して計測結果が予め設定された温度範囲外の場合には認証を行なわない手段を具備しているの、前記温度範囲を体温近傍にしておけば試作者が被認証者を持った者の指紋の写真や被認証権保持者の切り取った指を指紋読み取り部にあてたり、顔形状マスクを着用しても写真や切り取られた指や、顔形状マスクの温度を計測して温度が低い場合認証は行なわない。

(実施例)

①指紋読み取り部に熱電対を配置し、この計測結果が30℃～38℃の時以外は認証を行なわないように構成した。この読み取り部に被認証権保持者の指紋の写真をあてても認証は行なわれなかった。

②赤外線を用いて顔の温度を計測する構成として、顔の形状

により認証するように構成とした。被認証権保持者の顔形状マスクを作成し、詐称者がこのマスクを着用したが認証は行なわれなかった。

【発明の効果】

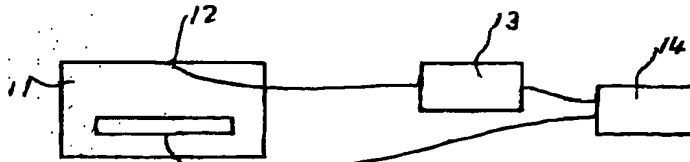
この発明によれば被認証権保持者の身体部位以外では認証をしない個人認証装置が得られる。

【図面の簡単な説明】

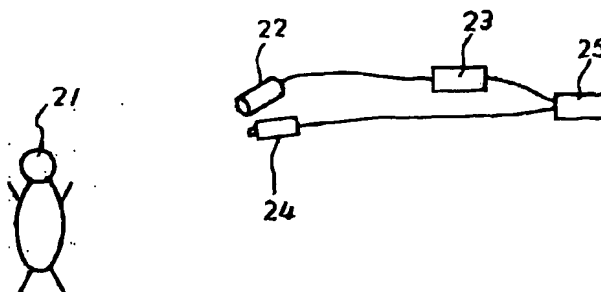
第1図～第2図はこの発明の実施例を説明するための図である。

- 10 11……指紋読み取り部
- 12……熱電対
- 13……設定温度範囲外照合停止装置
- 14……指紋照合装置
- 21……被認証者
- 23……赤外線温度測定装置
- 23……設定温度範囲外照合停止装置
- 24……カメラ
- 25……顔画像照合装置

【第1図】



【第2図】



BEST AVAILABLE COPY